

3. 暑さ対策

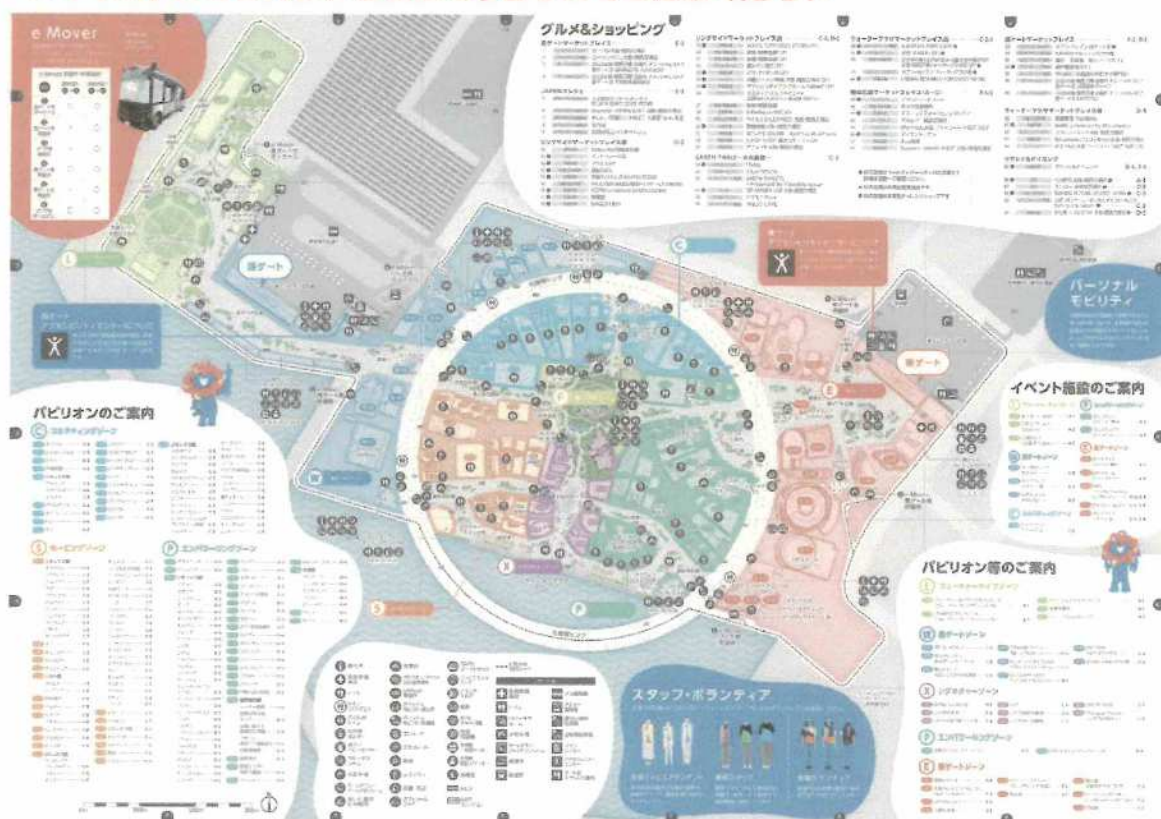
02 給水場所

◆給水所の確認方法

Expo2025公式マップ内の“水飲み場”をご参照ください。
会場内各所に設置されています。詳細は下記URLより会場MAPをご参照ください

会場MAPについて：<https://www.expo2025.or.jp/expo-map-index/map/>

※マイボトルのご持参が必要になりますのでご注意ください



4. 来場に係る事前準備

01 リスク別の安全対策（災害対策）

地震・津波の想定

南海トラフ巨大地震

最大震度は6強

- ・ 会場内のパビリオン等は新築で耐震設計されており、倒壊・崩壊する可能性は低い
- ・ アクセスルートは、耐震化済構造物であり、主要構造物の損壊等の致命的な被害発生の可能性は低い

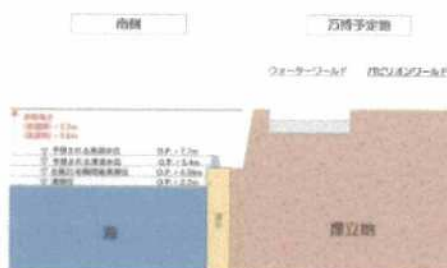
南海トラフ巨大地震の予想津波水位

Q.P. + 3.4m

- ・ 夢洲は津波・高潮対策のためかさ上げされている
- ・ 南海トラフ巨大地震の津波想定よりも約5m以上、台風による高潮想定よりも約3m以上の余裕
- ・ 津波の浸水被害は夢洲周辺部に限られ、高潮についても、会場の大部分については浸水しない想定



夢洲大橋は平成13年
夢洲トンネルは21年に竣工



大阪府防災会議南海トラフ巨大地震災害対策検討部会決定(H25)

地震発生時等の対応



○3日分に相当する水・食料（90万食）に加え、避難所と同程度の物資を備蓄しています。

○帰宅に関する交通状況の情報発信を行うとともに、ヘリや船舶による傷病者・要配慮者の輸送を要請します。

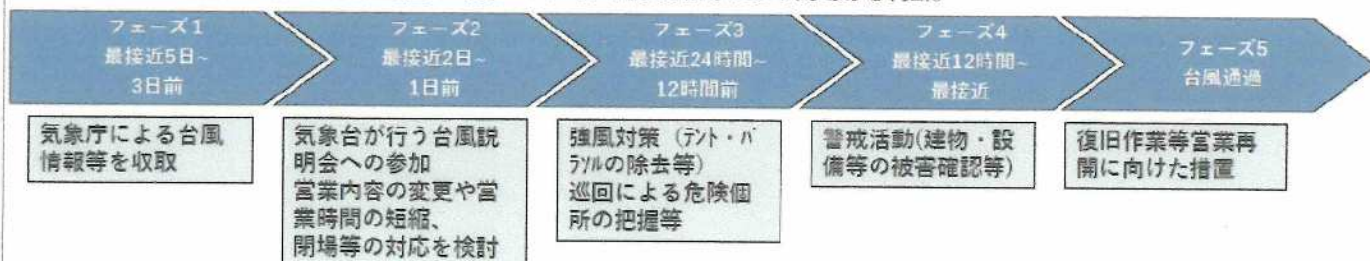
4. 来場に係る事前準備

01 リスク別の安全対策（災害対策）

台風・落雷への対応

○台風への対応

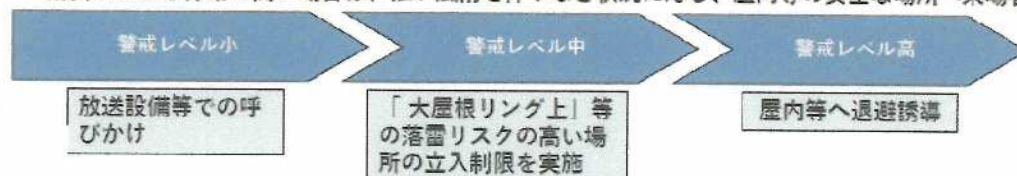
・台風接近の場合、万博の安全な運営の可否について、気象情報等により閉場等を判断。



○落雷への対応

・落雷リスクが見込まれる場合は、危険箇所からの退避を呼びかけ。

落雷リスクが非常に高い場合は、強い風雨を伴うなど状況に応じ、屋内等の安全な場所へ来場者を退避。



©Expo 2025

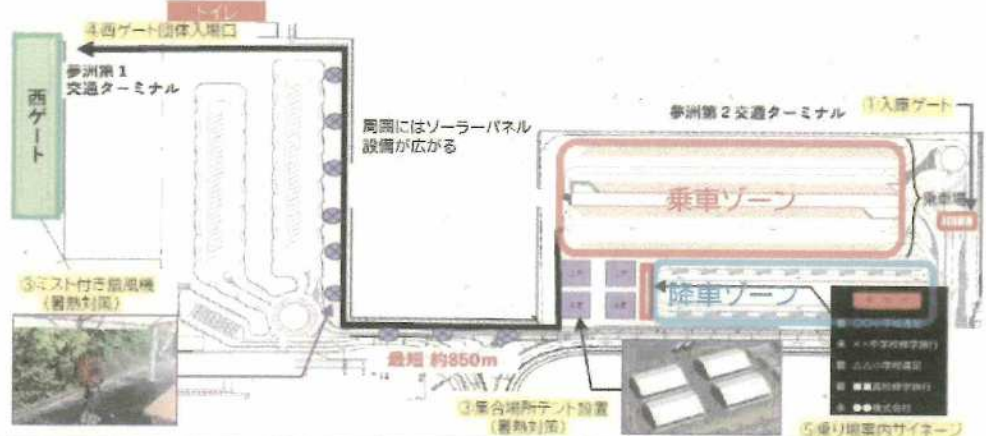
5. 公共交通機関の使用に当たって

03 貸切バスを利用して来場する場合

C: 団体バス乗降場（第2交通ターミナル）から西ゲート（徒歩ルート）

夢洲第2交通ターミナルから西ゲートまでは約1km離れています。

- ターミナルの利用は、降車時は10分間、乗車時は60分間の限定で利用できます。
- お客様降車後、バスは離れた待機場に回送（又は輸送終了）となるため、バス内の忘れ物は厳重に注意してください。
- バス降車後・乗車前の集合同所として、集合テント（横断幕無し、約1600名収容可能）が設置されます。
- 集合テントの傍には、管理棟、トイレ、出発バスの乗り場案内表示（サイネージ）があります。
- 集合テントから西ゲートまで約850m、徒歩約15分です。
- 集合テントから途中の第1交通ターミナルに至る通りは、道幅が狭く、時間帯によっては行列歩行が推奨されます。
- 歩行時の暑熱対策として、途中、等間隔にミスト付き扇風機が設置されます。
- 歩行時の体調不良者が発生した場合は、途中の警備員に報告し、第2交通ターミナルの管理棟か西ゲート、どちらか近くの職員が対応し、状況によっては会場内の医療救護施設と連携します。



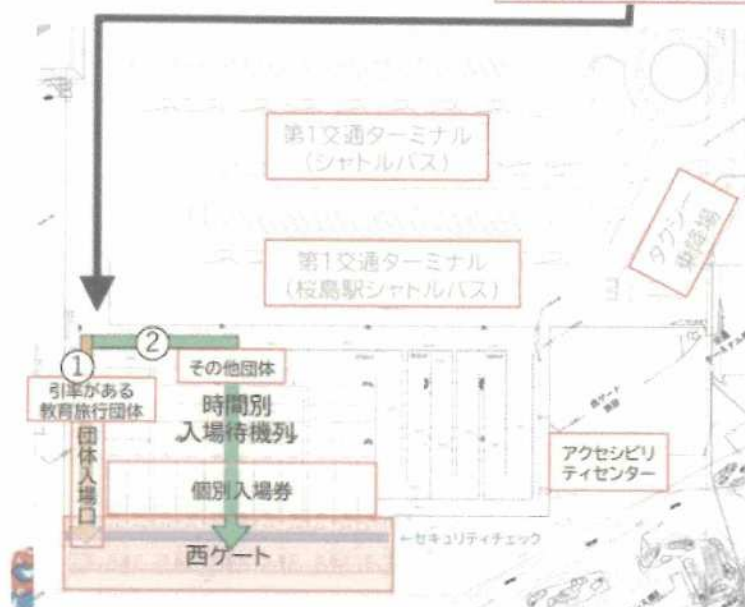
- 風雨時、乗降場から西ゲートまでの間、周りにささぎるものがなく、海からの強風対策として、傘よりも雨がっぱ等が有効です。
- 乗車時は、集合テントの乗り場案内サイネージで団体名を見つけ、バスの配車バス（駐車区画）と配車状況を確認します。
- ターミナル内では、バスおよびお客様の動きは、係員の指示に従ってください。



©Expo 2025

第2交通ターミナル （団体バス乗降場）より

【団体バスでの来場（西ゲート）の流れ】



団体バス：第2交通ターミナル（前頁）で降車
第2交通ターミナルで整列・待機

→ 引率がある教育旅行団体（個別QR・団体一括）

→ 入場予約時間に第2交通ターミナルから移動

① 団体入場口利用確認書をクラスごとに1部提出

→ 団体入場口から入場

→ 団体入場口が混雑している場合

② 時間別入場待機列に整列

→ 手荷物のセキュリティチェック

→ 個別入場口から入場

西ゲート前には団体集合用の広場はございません。

第2交通ターミナルにございます「集合テント」でお集まりいただき、西ゲートまでご移動ください。
尚、集合テント周辺では、トイレをご利用いただくことも可能です

8. 会場図

02 救護所、トイレ等の設置

◆会場内のトイレ配置図



◆会場内の医療救護施設（診療所・応急手当所）

会場内で体調が悪くなったり、けがをしたときは近くのスタッフや警備員にお問い合わせください。診療所（3か所：医師・看護師在中）および応急手当所（5か所：看護師在中）で応急措置を行います。

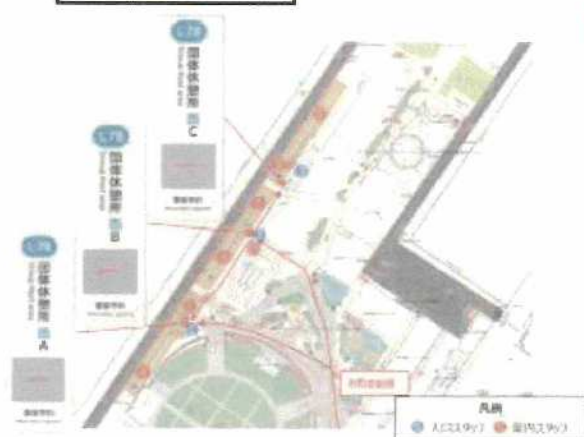
医療救護施設名	場所
東ゲート診療所 ※	東ゲート施設東棟3
リング北診療所 ※	サービス施設北東
西ゲート診療所	西ゲート施設西棟3
南東応急手当所	サービス施設南東
静けさの森応急手当所	休憩所③
北西応急手当所	休憩所②
南西応急手当所	休憩所①
西ゲート応急手当所	西ゲート施設東棟1

運営時間：9:00～22:00 ※東ゲート、リング北の診療所については運営時間が9:00～16:30となります。

16:30以降は、西ゲート診療所と応急手当所（5か所）で対応いたします。

4.団体休憩所について

団体休憩所西

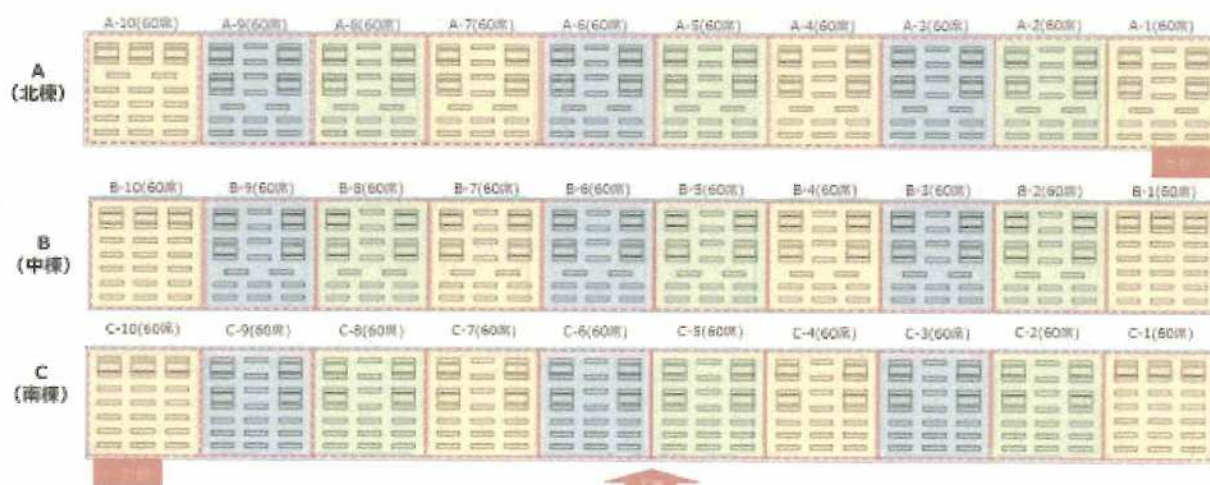


団体休憩所西、団体休憩所東



3エリア合計：1800席分

- ・3人掛けベンチ382基-370基 予備12基
- ・6人掛けテーブル115基-115基 予備0基

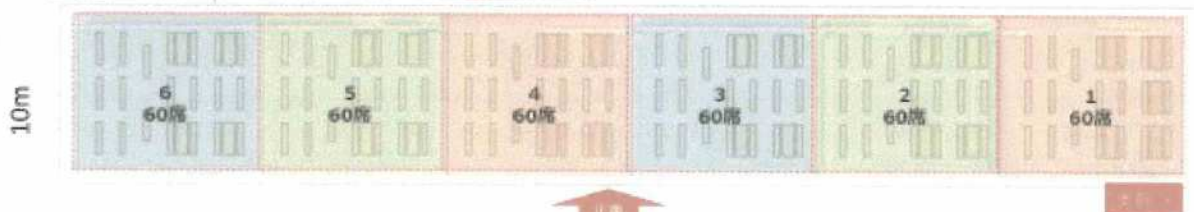


団体休憩所 東



合計：360席分

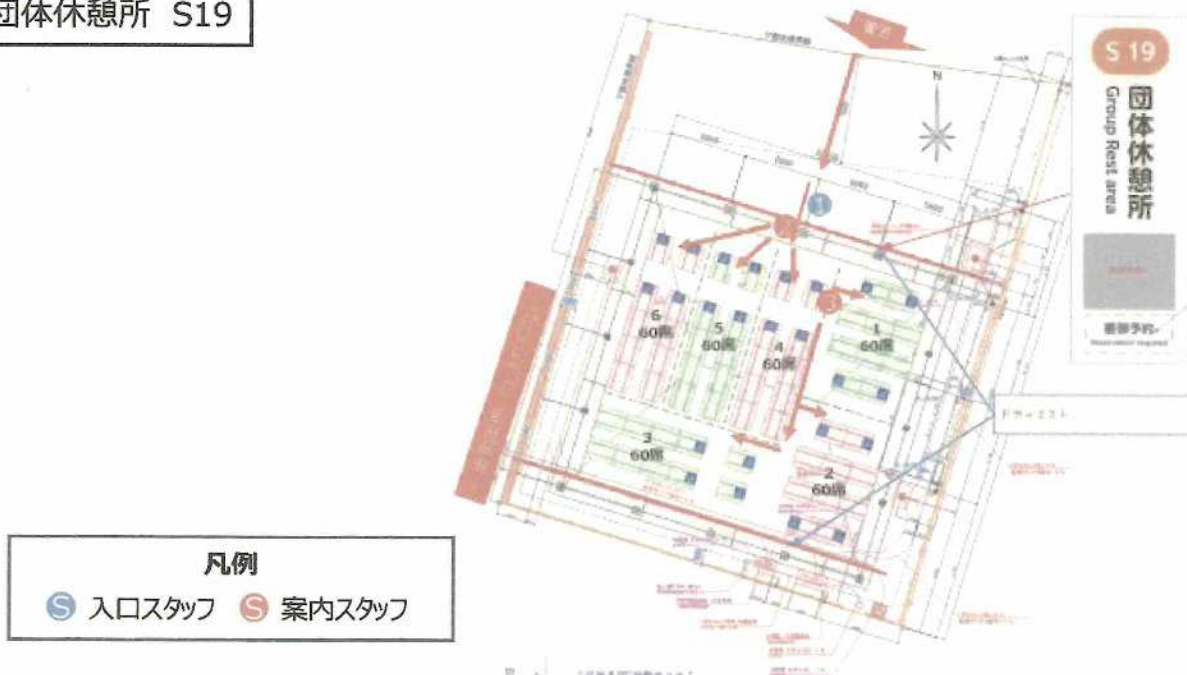
- ・3人掛けベンチ70基-70基 予備0基
- ・6人掛けテーブル25基-25基 予備0基



4.団体休憩所について



団体休憩所 S19



6.会場内の安全対策

■ 日常的な対策

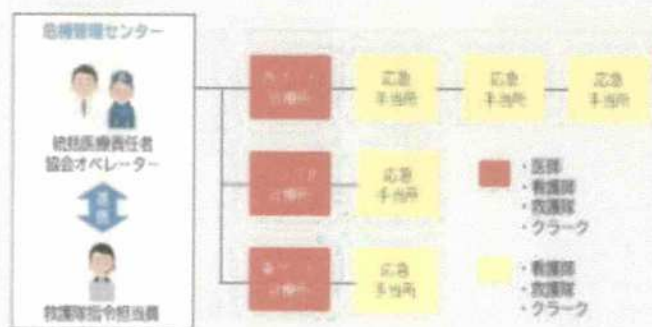
(1)セキュリティ対策

最大2000人の警備隊を配置し、入場ゲートでの手荷物検査や会場内の雑踏警備を行います。加えて約600台の防犯カメラを活用することで、事件・事故があれば速やかに会場内の警察官に引継ぎます。

(2)医療体制

急病や熱中症に診療所を設置し、医師・看護師・救護隊が常駐しています。緊急性が高い場合は救急車で、速やかに会場外の医療機関へ搬送します。その他にも、会場内には150台以上のAEDを配置しています。

会期中の体制



施設の概要



※運営時間：9:00～22:00（16時30分以降は西ゲート診療所と応急手当所に集約）

医療救護施設において提供する医療の範囲

【方針】医療救護施設では、傷病者(患者)の症状悪化を防止・軽減するための応急診療等の医療・看護を行う

	診療所（3か所）	応急手当所（5か所）
配置	医師・看護師・クラーク・救護隊	看護師・クラーク・救護隊
対応	応急的な診療や緊急度判定	トリアージや簡易な外傷処置
検査	緊急度の判定及び診療を目的とした検査 ⇒超音波検査、血液検査 等	緊急度の判定を目的とした検査 ⇒12誘導心電図測定、SpO2測定等
処置	鎮痛薬処方や点滴など	一時的な体調不良者の静養 簡易な外傷処置
緊急対応器具	蘇生器具・薬剤・除細動器 輪状甲状靱帯切開キット、トロッカーカテ テル等（気胸バック含む）	蘇生器具、薬剤、AED等

(4) -2. メタンガス対策

更新



- 会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。
- 協会は、会期中、会場内全域でのガス濃度測定を継続的に実施するとともに、各施設管理者・事業実施者に協力を頂き、各施設等での換気実施・安全確認を徹底する。
- 安全確認の状況については、協会HPや大阪・関西万博の公式アプリEXPO2025 Visitors等で毎日公表していく。
- 会期中も、ガス検知状況に応じて、ガス濃度測定の頻度を見直していきます。

●各施設管理者・事業実施者が行う日常の対応

- ①換気 ……24時間（常時）換気（換気設備がなければ毎朝、窓を開放）
- ②ガス測定 ……ハンディ検知器を協会より各施設等へ貸与
室内等で、各施設管理者および事業実施者が測定
- ③記録・連絡……測定結果を記録簿に記入。検知した濃度に応じて、各施設から協会へ連絡
※ガス検知状況に応じたエリアごとの対応を要請

●協会の対応

会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。

